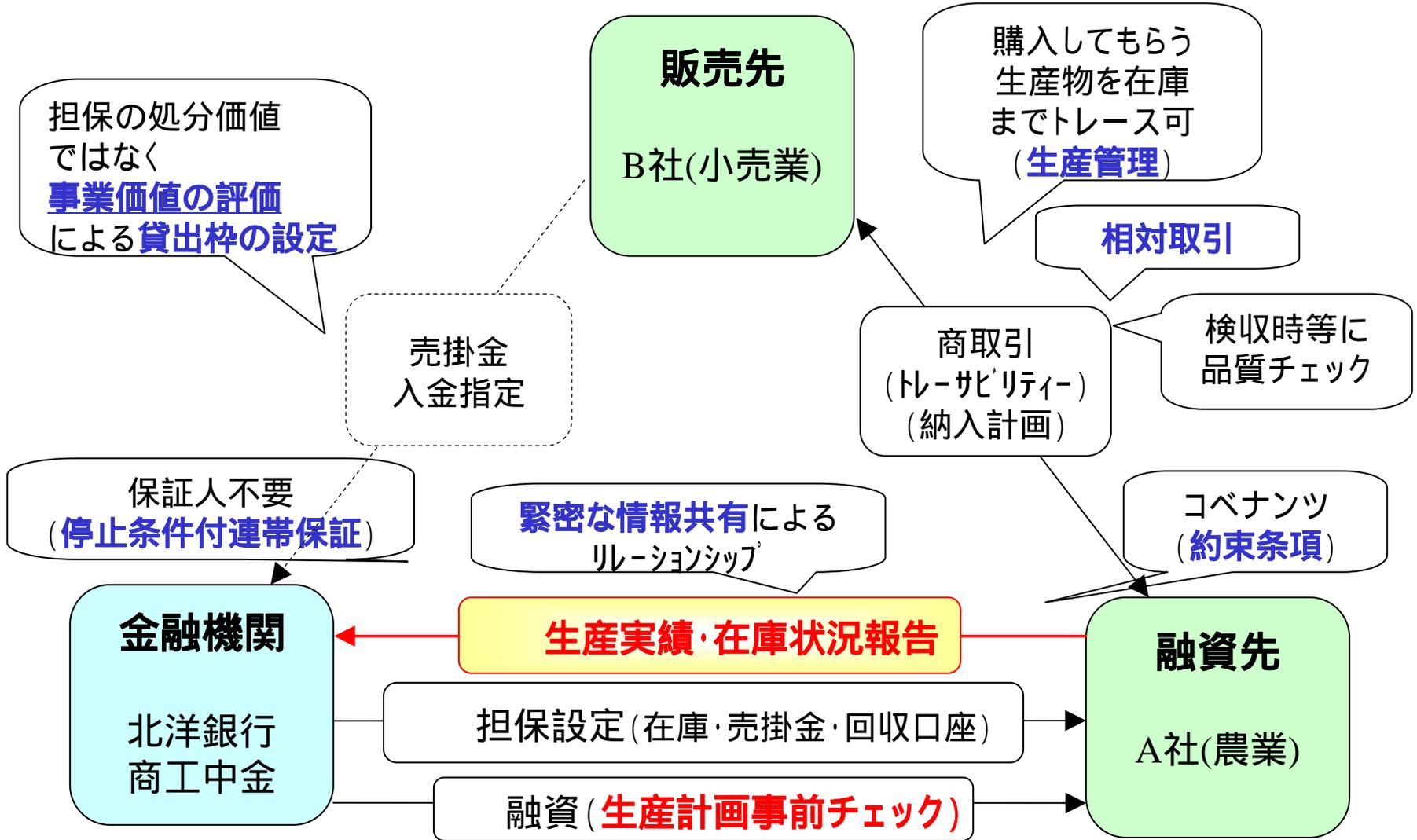


野菜を担保としたABL

(金融機関名)北洋銀行

<p>1. 動機(経緯)</p>	<p>当行は、地域密着型金融を推進する中で、過度に不動産担保・個人保証に依存しないファイナンススキームとして「ABL」に着目していた。このABLを北海道の基幹産業である「農業分野」での活用を図り、「畑作分野＝野菜担保」での国内初の事例として取り組んだ。「ABL」とは、在庫 売掛債権 現預金にいたる一連のビジネスサイクルを評価し、事業価値として一定程度の定量化を図り、事業資金を供給するものであり、北海道農業のように一年一作で資金の支払、回収が一方に偏重していても、通年での資金供給が可能であり、北海道の気候、風土等の自然環境に適したもので、まさに地域に密着した金融手法と考えている。</p> <p>また、当行は農業者取引に当り、JA等の系統金融機関と同じような金融手法で競合を意図するものではなく、民間金融機関ならではの金融手法として「ABL」に着目していた。このように民間銀行、JA系統金融機関がそれぞれの強みを生かして機能を補完しあいながら金融サービスを提供することが、農業者の利益に適い、北海道農業の発展に寄与するものと考えている。</p>
<p>2. 概要</p>	<p>「野菜」を担保とする「シンジケートローン型アセット・ベースド・レンディング(ABL)」。</p> <p>リボルビング型貸付極度額40百万円(当行30百万円、商工中金10百万円)。</p> <p>融資先 A社(農業)、販売先 B社(小売業)。在庫、売掛金、回収金(預金)を一体として担保取得。</p>
<p>3. 成果(効果)</p>	<p>当行のABL関連融資は、数十件、数十億円と、取組後一年余りで大幅に伸長した。</p> <p>事業価値に依拠したスキームであり、事業用資産以外の担保、保証、財務内容にのみ左右されない融資スキームの構築が可能となった。</p> <p>一連のビジネスサイクルの評価は、当行サイドのモニタリング能力＝「目利き力」の向上と表裏一体であり、取引先とのリレーションシップが強化された。</p> <p>「ABL」は、ビジネスサイクルを評価するものであり、担保物件のプロセス管理(品質管理、生産管理)＝トレサビリティが必須であり、「食の安全・安心」の確立を促すもの。</p> <p>有力な販売先を有している農業者の資金調達手段の多様化に繋がる。</p> <p>保証人や事業資産以外の担保が不要となる可能性があり、異業種からの農業参入、再チャレンジ等が容易となる可能性がある。</p> <p>事業価値に依拠しており、実現可能な優れたビジネスモデルであれば、資力の薄い起業家、異業種からの参入、若者の再チャレンジ、地域ブランドの形成等の際に、資金調達手段として有効なものとなる可能性がある。</p>
<p>4. 今後の予定(課題)</p>	<p>「ABL」の対象事業、対象物の拡大。</p> <p>動産担保の評価、管理スキームのブラッシュアップ。</p> <p>「ABL」を通じたモニタリング結果の企業実態面、取引実態面での検証。</p>

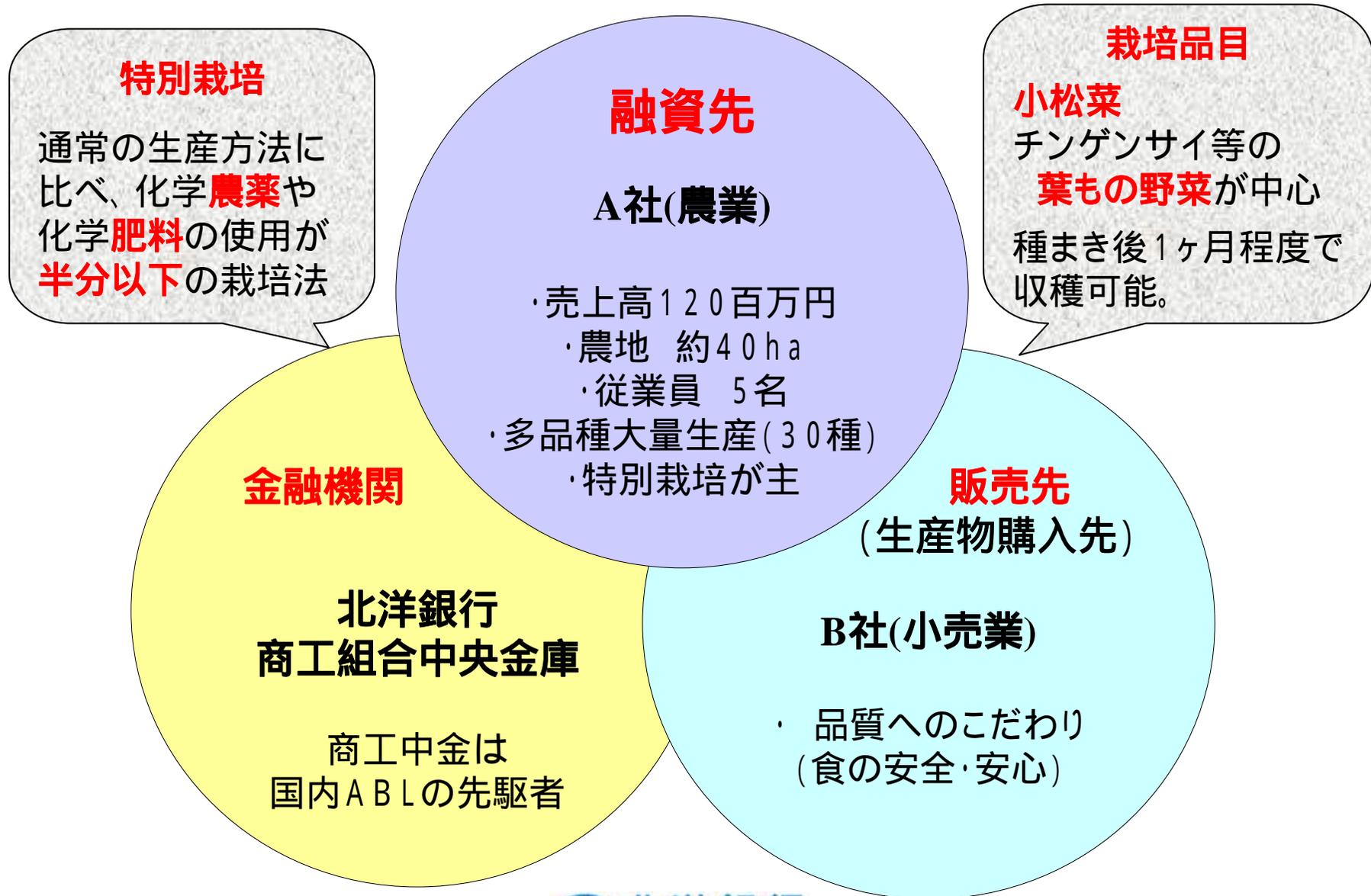
農業ABLモデル(農業の畑作分野では全国初)



ABLを通じたリレーシヨンシップ バンキングへの取組

平成20年2月18日

1. 今回の農業ABLの関係者



2. Asset(資産) Based(重視した) Lending(融資)

資産 … 不動産(土地・建物)、 在庫、 売掛金、 回収金(預金)

生産物の流れを構成する資産(在庫は付加価値を生む資産)

- (1) 不動産担保()や保証を評価
- (2) 在庫や売掛金のそれぞれの価値を評価(、)
- (3) 在庫から回収金の一連の流れで評価(~)
~ 在庫や売掛金を正確に把握する仕組

市場価格での評価
(単価は市況で上下)

仕組が備わっていることを評価

担保資産が常に実在していることも条件

(1) ~ (3)は、担保の市場処分価格の範囲内での融資が主

3. 農業ABLの可能性

上記(3)に販売先の融資先に対する評価も加味

~ 相対価格での安定的な購入

販売先の目利き力も評価に活用

将来産み出される価値も評価

一定の品質が維持できれば、相対価格を基準とした評価も可能

4. 販売先の目利き力？

販売先が安定的に購入する理由

～ 他には無い**商品力**(品質) + 安定的な**供給力**(生産能力)

・ 通常の商取引(見込生産)



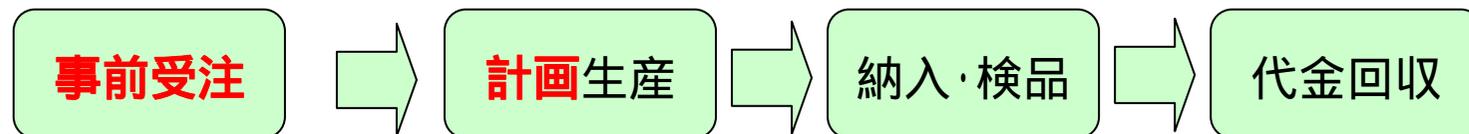
市場価格の下落や売れ残り等のリスク

生産状況の効果的な

モニタリングを

担保(裏付)に融資可能？

・ 商品力がある場合の商取引(計画生産)

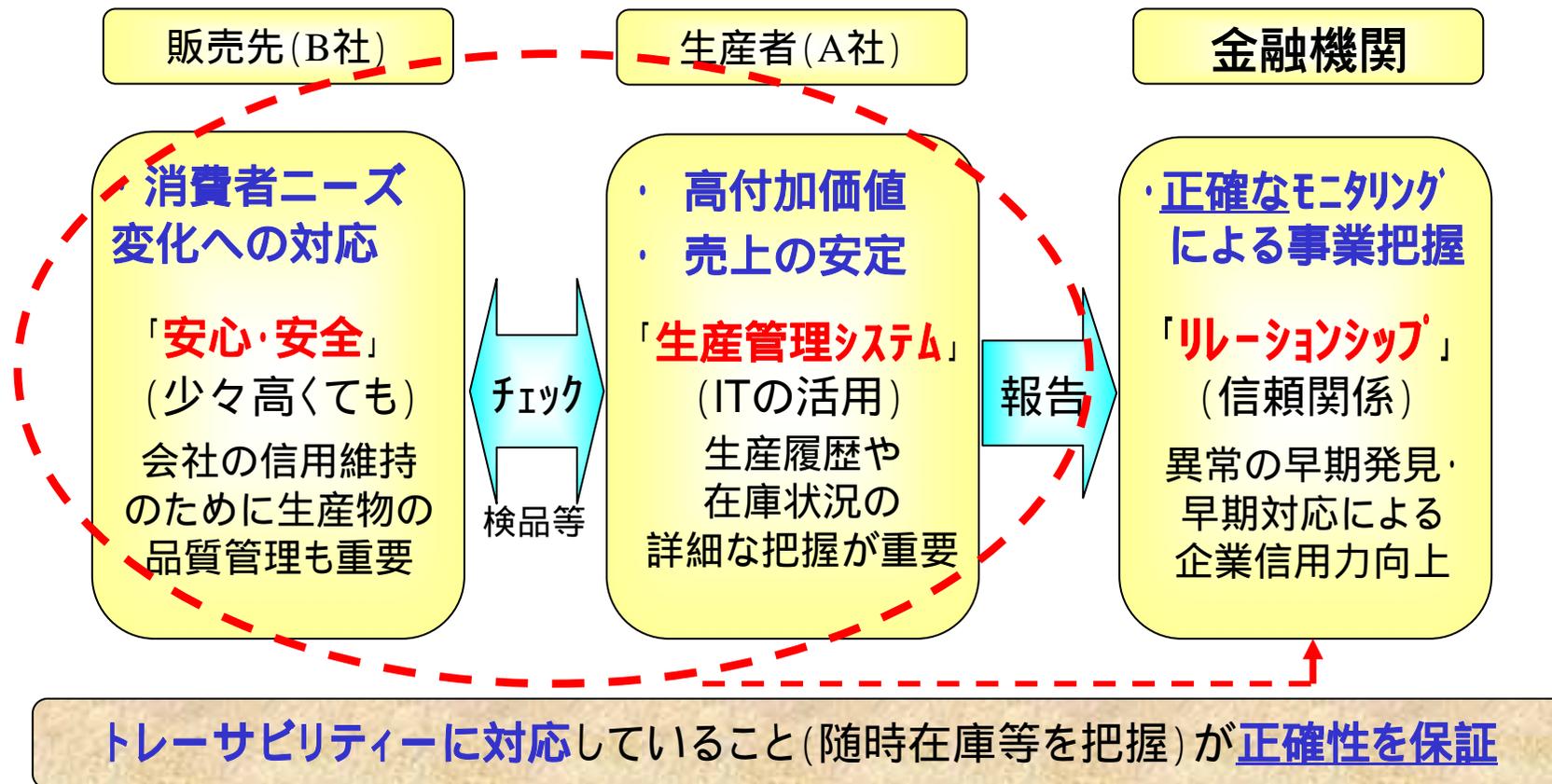


安定した売上が見込める反面、品質管理・生産管理を怠ると信用失墜

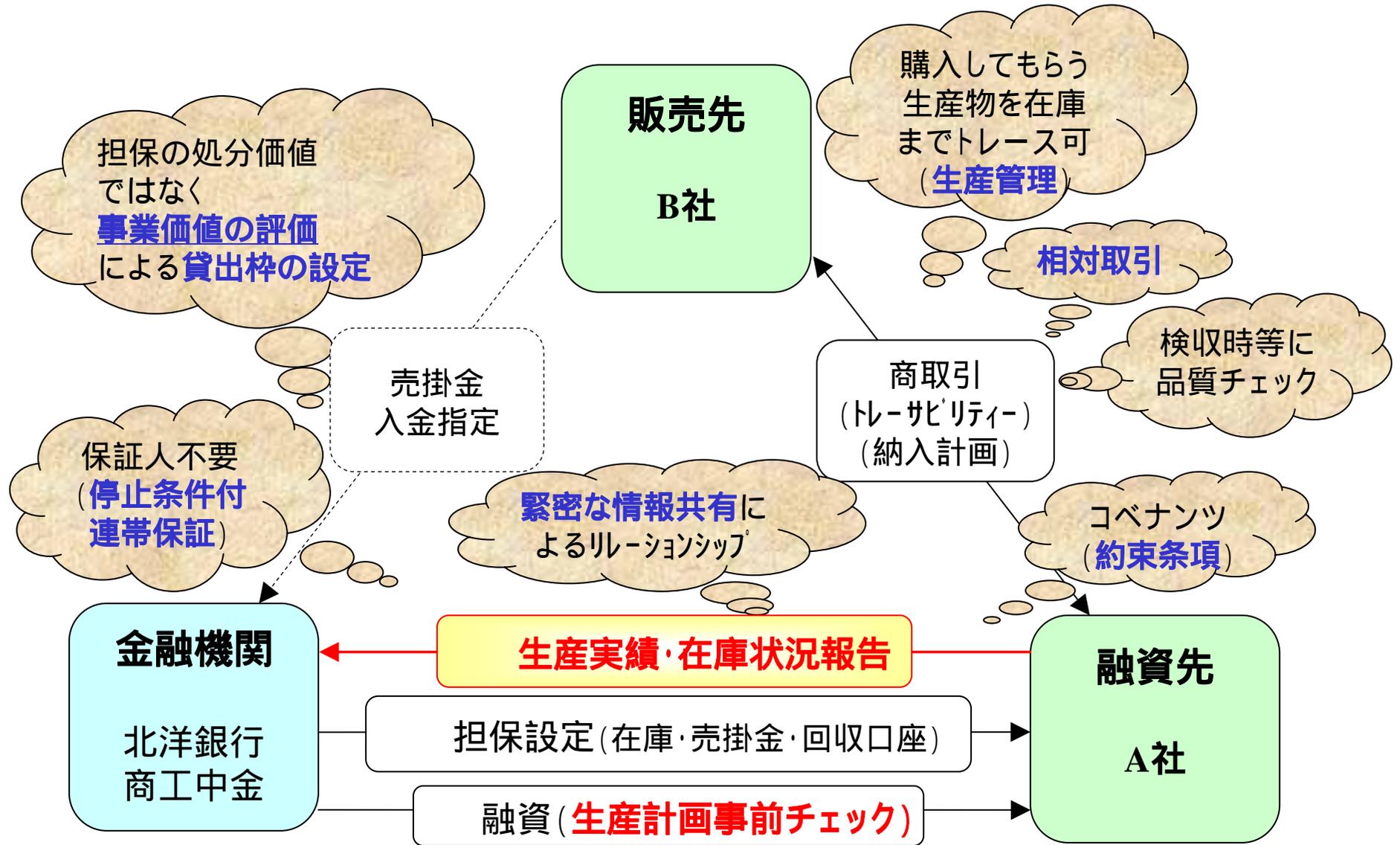
5. 品質管理・生産管理を行う仕組

トレーサビリティ：物の動きを捕捉する仕組
嘘がつけなくなる仕組

- ・ **モニタリングの裏付**
としての活用
- ・ **リレーションシップ**
強化のツール



6. 今回の農業ABLモデル



7. 期待される効果

(1) 有力な販売先を開拓している農業者等の資金調達が可能

・**相対取引等**による直接取引を行っており、**在庫を把握する仕組み**を備える
農業者等の資金調達の選択肢拡大。 **地域経済の活性化**

(2) 過度な担保や保証人に依存しない融資スキーム

・適切な生産管理を行なう事業者は、**保証人や事業資産以外の担保が不要**となる可能性。(停止条件付連帯保証) **再チャレンジの基盤**

(3) 食品の安心・安全向上

・生産過程のモニタリングにより、**食の安心・安全を側面サポート。**

8. 課題

(1) 不動産担保・在庫・売掛債権を一体的に取得できる担保法制整備

(2) ITを活用した効率的なモニタリングを行うための環境整備